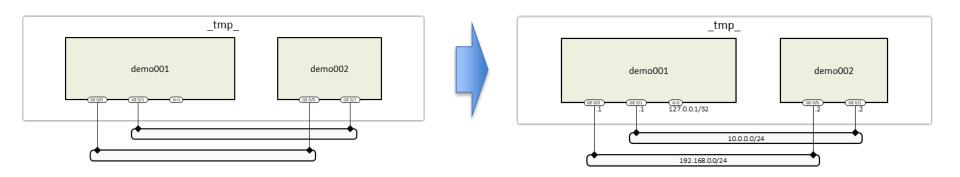
## 本手順でできること

デバイスファイルの[L3 Table]シートを更新しIPアドレスを設定します。

#### L3構成図



### ①機器ポート管理表の生成

「<u>2-4. デバイスファイルのエクスポート(解説付き)</u>」を参考にデバイスファイルをエクスポートします。

# ② [L3 Table]シートの更新 IPアドレス

デバイスファイル [L3 Table]シートにおいて、IPアドレスを設定したい「L3 Port Name」のインタフェースの「IP Address / Subnet mask」列にIPアドレスを入力してください。

- ・現在のバージョンでは、IPv4のみ対応。IPv6は未実装です。
- ・[L2 Table]シートでL3タイプに識別されたインタフェースが、[L3 Table]シートのインタフェースに表示されます。[L3 Table]シートからL3インタフェースの増減はできません。

Device Name	L3 Port Name	L3 Instance Name	IP Address / Subnet mask (Comma Separated)
demo001	GigabitEthernet 0/0		192.168.0.1/24
	GigabitEthernet 0/1		10.0.0.1/24 IPアドレスを入力 IPア・IPア・IPア・IPア・IPア・IPア・IPア・IPア・IPア・IPア・
	loopback 0		127.0.0.1/32
demo002	GigabitEthernet 0/0		192.168.0.2/24
	GigabitEthernet 0/1		10.0.0.2/24

※変更箇所を赤字で記載していますが、色は関係ありません。

セカンダリアドレスのように複数のIPアドレスを設定する場合は、カンマ [,] で区切って入力してください。

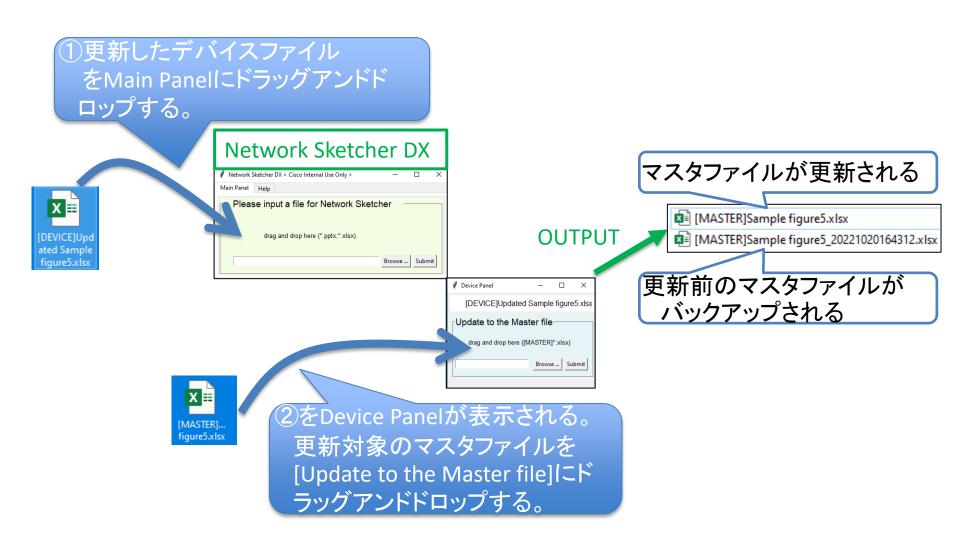
Device Name	L3 Port Name	L3 Instance Name	IP Address / Subnet mask (Comma Separated)
demo001	GigabitEthernet 0/0		192.168.0.1/24,192.168.1.1/24

「IP Address / Subnet mask」の命名規則は以下となります。

[IPアドレス] + / +[サブネットマスク]
192.168.0.1/24

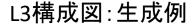
## ③更新情報の同期

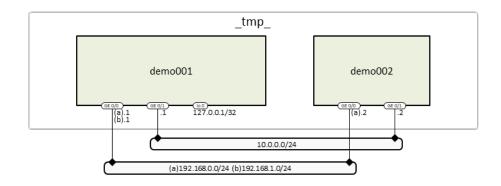
更新したデバイスファイルと、同期先のマスタデータファイルをそれぞれ選択し、同期させます。マスタデータが更新されるため、元のマスタデータはファイル名に"\_yyyymmddhhss"を付けてバックアップされます。



## ④L3構成図の確認

「<u>2-3. L3構成図の生成</u>」を参考に、L3構成図を生成して変更内容が反映されていることを確認ください。





- 同じL3セグメント内に複数のIPアドレスネットワークが存在する場合、(a)のように識別子が付与されます
- 同じL3セグメント内にL3インタフェースが1つだけ接続されている場合はL3セグメントは記載されず、L3インタフェースに[IPアドレス/サブネットマスク]が記載されます。

## デバイスファイル [L3 Table]シートの解説

デバイスファイル名[DEVICE]~の[L3 Table]シートの説明。

